

100.103 紛争鉱物に関する方針

本文書は電子的に管理、発行されています。www.regalbeloit.com/Governance (Regal Corporate Governance インターネットサイト) のバージョンが最新版の文書となります。ハードコピーは管理対象外であり、最新版でない可能性があります。ハードコピーを使用する場合、電子的に管理されたバージョンと比較する必要があります。2014年6月

Regal Beloit Corporation 紛争鉱物に関する方針

誠実さは Regal の 3つの基本的価値のうちの一つです。当社は、倫理的および社会的に責任ある行動において最高基準を維持するよう努め、紛争鉱物の採鉱、輸送、または取引に関連する人権侵害を容認いたしません。当社は、“紛争地域” と指定される場所、つまりコンゴ共和国およびその周辺地域から企業が特定の鉱物を調達しないことを保証するために、自社のサプライチェーンに関する合理的なデューデリジェンスの実施を要求する電子業界 CSR アライアンス (“EIC C”) およびグローバル e サステナビリティ・イニシアチブ (“GeSI”) の取り組みを支持します。

当社のコミットメントを踏まえ、当社は紛争地域で採掘または精錬された鉱物が自社製品に使用されているかどうかを判断するために、サプライヤと協力してすべての自社製品の原材料を追跡します。当社は紛争地域で産出した鉱物と知りながらそれを自社製品に使用することはありません。この結果として、当社はすべてのサプライヤに対し、当社に供給する製品の原材料を紛争地域に関連しないと認定された精錬業者まで遡って追跡し、デューデリジェンス手続きに関する文書を提出することを要求します。当社はサプライヤに対し、紛争地域でないと特定された供給源から、スズ、タンタル、タングステン、および/または金を含むコンポーネント、部品、または製品を調達するよう要求します。当社は、これに関するサプライヤのコミットメントと活動を把握および監視するために、標準化された EICC-GeSI 紛争鉱物報告テンプレートを採用します。

紛争鉱物に対する Regal のデューデリジェンス措置は、すべての重要な点において『OECD 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデューデリジェンス ガイダンス：第 2版』（『OECD ガイダンス』）の枠組みに従うよう策定されており、これには、金、スズ、タンタル、タングステンに関する補足が含まれます。Regal は OECD デューデリジェンスガイダンスの 5つの手順すべてを採用しています。これには管理体系、サプライチェーンにおけるリスクの特定および評価プロセス、特定されたリスクへの対処、紛争フリー精錬業者プログラム (CFS) のリスク管理およびデューデリジェンスプロセスの導入が含まれます。

当社は、当社と価値観を共にする企業のみと取引を行う方針です。当社はこの方針をサプライヤに通達し、サプライヤのサプライチェーンにも同様の方針を設定するよう求めます。

この方針についての質問は、integrity@regalbeloit.com へ直接問い合わせるか、あるいは最寄りのサプライチェーン担当者までお問い合わせください。

部署/ビジネスユニット:	法務/サプライチェーン
作成者 (役職、部署)	Greg Lanchman 法令遵守および技術サポート担当マネージャー - サプライチェーン
発行日:	2014年6月2日
改訂頻度:	年次
発行言語:	規範言語